

「The New Times」(英字日刊紙)の主要報道

2011年5月

在ルワンダ大使館

(1) 内政

ア 内閣改造：6日、カガメ大統領は省の統合及び内閣改造を行った。省の統合により、土地・環境省と森林・鉱床省が天然資源・土地・森林・環境・鉱床省となり、スポーツ・文化省と青年省が青年・スポーツ・文化省となった。内閣改造では、半数以上の閣僚は留任し、空席であった大使ポストには大臣経験者が配置された。また、11日、一部の省の次官レベルの変更も発表された。なお、新駐日大使には教育大臣であったムリガンデ氏が指名された。

イ インガビレ統一民主勢力(UFD)インキンギ党党首の裁判：16日、インガビレ党首は、高等裁判所で行われた審理に弁護士なしで参加し、自身の弁護団には外国人も含まれるが書類は全てキニアルワンダ語であり、公判に必要な書類を準備するために審理を9月まで延長したい旨述べた。これに対し、ルタザナ裁判官は、書類整理の準備期間は1か月で十分であり、6月20日に公判を再開する旨決定した。

(2) 経済

ア 2011年度国家予算：2日、ルワンゴムブワ財務大臣は、議会にて2011年度国家予算の骨子を発表した。予算規模は初めて1兆ルワンダフラン(1米ドル=約600ルワンダフラン)を超える見通しである。予算案は6月初旬に発表され、同月末に成立する見通しである。

イ 物価の上昇：ルワンダ国家統計局(NISR)によると、4月の消費者物価指数が前年同月比4.98%と、2月の2.56%、3月の4.11%から上昇した。NISRは、物価上昇を国際的な食料価格及び原油価格の上昇に起因するものと指摘しているが、国内自給で賄える食用作物につき、5月以降は収穫時期に入るため、価格の下落を予想している。

ウ ビジネス環境改革：18日、ルワンダ開発局(RDB)は、世銀のビジネス環境ランキングの向上を意識し、ビジネス環境に係る4分野の改革を発表した。同改革により、起業、資産登録、建設許可及び国境を越えた貿易に係る各必要書類及び手続きが簡素化される。

エ 天然ガス産業：ルワンダ政府がコントロールグローバル社と契約を結んでいるキブ湖のメタンガス抽出計画につき、多国間国際投資保証機関(MIGA)が投資保証を行うことになった。同計画の実施遅延に対しルワンダ政府は予てより懸念を示していたことから、ルハムヤ・エネルギー・水担当大臣は、今般の決定を歓迎する表明を発表した。

オ インフラ開発：ルワンダ民間航空局は、キガリ国際空港の施設増強のため1億4,000万米ドルを投入する旨決定した。観光産業はルワンダの主要歳入源のひとつであり、空港の環境整備を行うことで観光・ビジネス客の受入れ基盤を固める方針である。また、ルワンダ交通開発局は、ルワンダ、ブルンジ及びタンザニア間を跨ぐ国際鉄道計画の予備調査を実施し、同計画には約50億米ドルを要する旨発表した。詳細設計は来年半ばまでに終了する予定である。

### (3) 外交・安全保障

ア イギリス・ルワンダ関係：ルワンダ政府がイギリス在住のルワンダ人2名の暗殺を画策し、ロンドン警視庁が発出した警告文がイギリスの各種報道機関で取り上げられていることにつき、政府は声明を発表し、その中で、当事者2名は無名のルワンダ人であり、一連の出来事は根拠のない偽りである旨強調した。

イ ドイツ・ルワンダ関係：3日、ドイツ連邦議会の人権・人道援助委員会に所属する議員5名がルワンダを訪れ、カルガラマ司法大臣よりガチャチャ裁判に関する説明を受けた。また、1月にドイツにおいて逮捕されたルワンダ解放民主軍（FDLR）指導者のムルワナシャカ氏及びムソニ氏の裁判が4日から始まった。

ウ ベルギー・ルワンダ関係：18日、ベルギー政府による約1億6,000ユーロの対ルワンダ援助（2011年～2014年）の署名式が行われ、アクテン・ベルギー外務省総括局長及びルワンゴムブワ財務大臣が署名を行った。支援の内訳は、保健及びエネルギー・セクターに各5,500万ユーロ、地方分権セクターに2,800万ユーロ、残りはプロジェクト支援である。

エ チェコ・ルワンダ関係：ドゥプ・チェコ外務副大臣が11日より3日間の日程でルワンダを訪問し、カバレベ国防大臣と会談し、最近締結されたばかりの二国間の防衛協定の実施方針につき協議した。

オ ケニア・ルワンダ関係：2000年に締結された10年間有効の防衛協定の期限終了に伴い、10日、新たに10年間の期限付で同協定を更新した。ハジ・ケニア国防大臣がルワンダを訪れ、カバレベ国防大臣と共に署名を行った。

カ インド・ルワンダ関係：24日、ヤダフ・インド農業及び食料加工担当大臣がルワンダを訪れ、カガメ大統領及びカリバタ農業大臣と相次いで会談し、ルワンダの農業セクターにおけるインドの協力方針につき協議した。

キ コモンウェルス・ルワンダ関係：4日及び5日、キガリ市内で開催されたコモンウェルス自治体フォーラム（CLGF）主催の会合に、東アフリカ地域の地方自治大臣が参加し、地方分権のための地域連携の在り方につき協議した。また、6日、ライトCLGF事務局長がカガメ大統領を表敬し、会合の成果を報告した。

ク 大湖地域経済共同体（CEPGL）：9日及び10日、CEPGL加盟国の移民局長が集い、域内の人々の移動の自由につき協議を行い、24時間稼働の国境の増設及び域内移動保証書の価格の統一につき合意した。

ケ アフリカ地域警察長官機構（RPCO）会議：26日及び27日、キガリ市内でRPCOの会合が開催された。小型武器及び爆弾の不法売買対策に焦点を充てた

同会合では、今年の後半に2度の地域共同規制強化策の実施及び取り締まりに関する訓練の統一等につき協議された。

(注)「ルワンダ月報」は、ルワンダの英字日刊紙「The New Times」の報道を当館限りでまとめたものです。記事の中の客観事実は、日本政府やルワンダ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。